

第4期幌別西小学校区きずな計画書

No.	基本目標	基本計画	重点項目	No.	実施項目 (具体的な内容及び活動)	地域(校区)の現状と課題 (重点項目の理由)	連携・運動団体	年次計画				
								R4	R5	R6	R7	R8
1	①きずなを育て確かめる	きずな活動の推進	校区活動	1	●校区きずな推進委員会の運営 (地区ごとの福祉活動の相互理解ときずなを地域住民に広めるための連携体制の構築)	・校区内の活動を知り合うことで自身の活動の参考になる。 ・高齢、障がい、子どもなどあらゆる分野について検討することが今後必要である。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				2	●住民座談会の開催 (地域住民同士が地域の福祉課題を共有し、話し合い、それぞれができることを考える機会の設定)	・地域の課題について住民自らが自分ごととして考える機会が必要。 ・SDGsに関連させて、福祉活動について若い世代にも興味関心を持ってもらう促しも効果的ではないか。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、介護事業所、民間事業者、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				3	●きずなを停滞させない活動の推進 (感染症などの影響下にあっても行える福祉活動の実践)	・コロナ禍であっても福祉活動は大切。 ・福祉活動の活性化は地域の活性化にもつながるのではないか。 ・児童や生徒など若い世代との協働による取り組みも行える可能性があるのではないだろうか。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、幌別西小学校、西陵中学校、登別明日中等教育学校	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
2	②きずなを護り強める	小地域ネットワーク活動の推進	日頃からの見守り・訪問・声かけの推進	4	●災害時や緊急時を意識した支え合う地域づくり (小地域ネットワーク活動の全域実施と定期的な見守り活動の継続)	・避難方法などは地域ごと異なるため、画一的な取り組みとはならない。 ・避難先の周知とお互いの声かけの徹底は欠かせない。 ・平常時の見守り活動は災害時にも活かすことができる。	町内会、民生委員・児童委員、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				5	●地域でのつながりの構築及び強化 (地域の福祉課題をあらゆる関係者で検討する機会の設定と推進)	・地域住民や関係機関が日常的に連携する体制づくりが必要。 ・連携を強めることで、地域に住む関わりが難しい世帯の支援につながる。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、介護事業所、民間事業者、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
3	②きずなを護り強める	ともに生きる地域づくり	居場所・相談・つながりづくりの推進	6	●地域住民がだれでも集える居場所づくり (町内会規模での活動の展開と世代間交流の推進)	・町内会や老人クラブに所属していない人の居場所も必要ではないか。 ・サロンと児童クラブなど、既存の取り組みを合同するなどにより多世代の関わりを意図的に促していくことが必要。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、地域包括支援センター、幌別西小学校、西陵中学校、登別明日中等教育学校、市	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
4	①きずなを育て確かめる	きずな共育(福祉教育)の推進	地域の福祉力を高める人材育成	7	●市民が福祉に関わる機会の充実 (日常の実践活動への幅広い地域住民の参画推進)	・小さな活動でも多くの人が関われる取り組みや福祉活動の魅力が伝わる取り組みが必要。 ・行事の時だけでなく、日常の活動から世代間交流の視点を持つ必要がある。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、幌別西小学校、西陵中学校、登別明日中等教育学校	検討	実施	⇒	⇒	⇒
				8	●地域福祉を支える人材の発掘 (世代や性別、役割などに依らない地域住民がそれぞれにできることの明確化)	・町内会や老人クラブ、民生委員・児童委員等が高齢化や役割の重複等をしている状況。 ・活動実践者だけではなく、様々な立場の人からの意見を聞くことが必要。 ・活動を見つめ直し、役割の分散など組織のあり方や若返りなどを真剣に考える必要がある。	町内会、老人クラブ、民生委員・児童委員、幌別西小学校、西陵中学校、登別明日中等教育学校	検討	実施	⇒	⇒	⇒